

# MEMOCON-SC GLシリーズ→MELSEC-Qシリーズ

## 大形タイプ▶2000シリーズI/O

### 機種一覧表

#### 変換アダプタ

変換アダプタ、置換え前および置換え後ユニットの仕様につきましては、ユーザーズマニュアル(当社Webサイトからダウンロード)を参照してください。  
また接続機器の仕様を満足することをご確認ください。

#### 入力/出力ユニット用

1スロットタイプ(三菱電機株式会社製Qラージベースユニット(Q□□BL)にも取付け可能)

入力/出力	置換え前 MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O) ユニット形名	置換え後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	注意 事項	変換アダプタ			入力/出力 点数	
				形名	形状			
				2000シリーズI/O	MELSEC-Qシリーズ			
入力	JAMSC-B2501A	QX10	—	ERNT-1Y2Q501	端子台(20点) ▶	端子台(18点)	16点	
	JAMSC-B2601	QX40、QX40-S1、QX70	※1、2	ERNT-1Y2Q601611				
	JAMSC-B2611	QX50	—	ERNT-1JQ32N34N	端子台(38点) ▶	コネクタ(40P)		
	JAMSC-B2603	QX41、QX41-S2、QX70	※3、4、5					
	JAMSC-B2607	QX71	※3					
	JAMSC-B2605	QX42、QX42-S1、QX72、	—	ERNT-1Y2Q615625	コネクタ(40P)×2 ▶	コネクタ(40P)×2		64点
	JAMSC-B2615	QX82、QX82-S1						
JAMSC-B2625	QX72	—						
出力	JAMSC-B2500	QY22	—	ERNT-1Y2Q500	端子台(20点) ▶	端子台(18点)	16点	
	JAMSC-B2600	QY40P、QY50		ERNT-1Y2Q600				
	JAMSC-B2602A	QY41H	※6	ERNT-1Y2Q602606	端子台(38点) ▶	コネクタ(40P)		
	JAMSC-B2606							
	JAMSC-B2604	QY42P	※7	ERNT-CQCY213	コネクタ(40P)×2 ▶	コネクタ(40P)×2		64点

- ※1:既設ユニットをDC24V マイナスコモンでご使用の場合は、QX80への再配線をご確認ください。その際、ERNT-AQTB20の使用をご確認ください。
- ※2:既設ユニットを8点ごとに別電源でご使用の場合は、QX40HまたはQX80Hへの再配線をご確認ください。その際、ERNT-AQTB20の使用をご確認ください。
- ※3:シャープ株式会社製JWシリーズ(大形タイプ)からMELSEC-Qシリーズへの置換え用の変換アダプタを使用します。
- ※4:既設ユニットをDC24V マイナスコモンでご使用の場合は、QX81またはQX81-S2への再配線をご確認ください。その際、ERNT-AQTB38-Eの使用をご確認ください。
- ※5:既設ユニットを8点ごとに別電源でご使用の場合は、QX40H 2台またはQX80H 2台への再配線をご確認ください。その際、ERNT-AQTB20の使用をご確認ください。
- ※6:電流容量が必要な場合は、QY50(0.5A、16点)、またはQY68A(2A、8点)への再配線をご確認ください。その際、ERNT-AQTB20の使用をご確認ください。
- ※7:オムロン株式会社製 SYSMAC CシリーズからMELSEC-Qシリーズへの置換え用の変換アダプタを使用します。

2スロットタイプ(三菱電機株式会社製Qラージベースユニット(Q□□BL)には使用できません。)

入力/出力	置換え前 MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O) ユニット形名	置換え後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	注意 事項	変換アダプタ			入力/出力 点数
				形名	形状		
				2000シリーズI/O	MELSEC-Qシリーズ		
入力	JAMSC-B2505A	QX10×2台	—	ERNT-1Y2Q505	端子台(38点) ▶	端子台(18点)×2	32点
出力	JAMSC-B2504	QY22×2台	※8	ERNT-1JQ33S			
	JAMSC-B2902	QY10×2台		ERNT-1JQ31N34S			
	JAMSC-B2904	QY18A×2台	—	ERNT-1Y2Q904914			
	JAMSC-B2914						

※8:シャープ株式会社製JWシリーズ(大形タイプ)からMELSEC-Qへの置換え用の変換アダプタを使用します。

#### ユニバーサル変換アダプタを活用した置換え ▶P.285

下表に示す入力/出力ユニットは未対応となります。ただし、ユニバーサル変換アダプタの活用をいただくことで、再配線が必要となりますがご使用いただけます。

#### 入力/出力ユニット用

入力/出力	置換え前MEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)ユニット形名			置換え後MELSEC-Qシリーズユニット形名				ユニバーサル変換 アダプタの対応
	形名	仕様	点数	形名	仕様	点数	必要台数	
入力	JAMSC-B2503A	AC200V	16点	QX28	AC100-240V	8点	2台	対応
	JAMSC-B2507A	AC200V	32点	QX28	AC100-240V	8点	4台	対応
	JAMSC-B2912	AC100/200V DC24V	32点	QY10	AC100-200V DC24V	16点	2台	対応
出力	JAMSC-B2610	DC48Vシンクタイプ	16点	MELSEC-Qシリーズに該当するユニットがありません。				
	JAMSC-B2624	DC5Vシンクタイプ	64点	QY41H	DC5/12/24Vシンクタイプ	32点	2台	対応
	JAMSC-B2630	DC12/24Vソースタイプ	16点	QY80	DC12/24Vソースタイプ	16点	1台	対応
	JAMSC-B2632	DC12/24Vソースタイプ	32点	QY81P	DC12/24Vソースタイプ	32点	1台	対応

## ベースアダプタ

MELSEC-Aシリーズ→MELSEC-Qシリーズリニューアル機器と同じ製品を使用します。  
ベースアダプタを使用することにより、MELSEC-Qシリーズベースユニットと変換アダプタ固定台をネジ穴加工なしで、同時に設置できます。

### ご注意

ベースアダプタを盤面に取付けるためのネジ穴加工2ヶ所 (M5ネジ)、および取付M5ネジ4本 (お客様手配) が必要となります。  
(なお、置換え前後で取付け寸法が4ヶ所とも一致し、追加ネジ穴加工が不要となる場合もあります。)

同じベースユニット (※1～※5) が複数のベースアダプタにおいて取付けできますので、製品寸法により最適なベースアダプタをご使用ください。

ベースアダプタ形名	取付け可能					変換アダプタ固定台	製品寸法 幅×高さ (mm)
	12スロット	8スロット	5スロット	3スロット	2スロット		
ERNT-AQB38N	Q312B					ERNT-AQF12、ERNT-AQF8	480×240
		Q38B (※1)				ERNT-AQF8	
ERNT-AQB35N		Q38B (※1)				ERNT-AQF8、ERNT-AQF5	382×240
			Q35B			ERNT-AQF5	
ERNT-AQB32N				Q33B		ERNT-AQF3	247×240
ERNT-AQB68N	Q612B					ERNT-AQF12、ERNT-AQF8	466×240
		Q68B (※2)				ERNT-AQF8	
ERNT-AQB65N		Q68B (※2)				ERNT-AQF8、ERNT-AQF5	352×240
			Q65B (※3) Q55B (※4)			ERNT-AQF5	
ERNT-AQB62				Q63B	Q52B (※5)	ERNT-AQF3	238×240
ERNT-AQB58N		Q68B (※2)				ERNT-AQF8	411×240
ERNT-AQB55N			Q65B (※3) Q55B (※4)			ERNT-AQF5	297×240
ERNT-AQB52					Q52B (※5)	ERNT-AQF3	183×240

## 変換アダプタ固定台 (必須)

MELSEC-Aシリーズ→MELSEC-Qシリーズリニューアル機器と同じ製品を使用します。  
変換アダプタの下部を固定するもので、1ベースユニットあたり1個必要となります。

### ご注意

変換アダプタ固定台を盤面に取付けるためのネジ穴加工2ヶ所 (M4ネジ) が必要となります。  
ベースアダプタを使用される場合、ネジ穴加工は不要です。

変換アダプタ固定台形名	仕様
ERNT-AQF12	12スロット分変換アダプタ固定台
ERNT-AQF8	8スロット分変換アダプタ固定台
ERNT-AQF5	5スロット分変換アダプタ固定台
ERNT-AQF3	3スロット分変換アダプタ固定台